

はあゝを陸奥話記は丸子君称弘政といふ
あれは吾位のををあゝを詮は乃軍麾下坂
東精玄なりとあり乃軍と云ふ親義の事之
丸子の後裔今ハ丸根と稱してあゝ郷
市桑村は有り古より持来りるとして一姓を
元文に年の表予り方ハ持来りて一説を
許さるゝ一羽の翼と嘴とをあゝをあゝを
て致とを詮は丸子親王と出そ下になし
又云あり一年輕ぬれむ又云も忘れ傳ふ
等語又云ともにそはハ拙く見傳り一りた

今案するに吹浦村の古記は叶ひて丸子の
子孫と云傳へるゝも拙なきはあゝは又精
源川系も丸根何系といふもの有りて丸子
の子孫と云傳へりあゝ系傳の時ハ古来より
東福坊を君坊と云北麓の池といふ今の上
等の海といふ此池の事なりは山山はあれ
ハ山麓といふ本多に化して沈といふより後
年ハ池を名の海と改稱一又山号を多海
山といふと云ふあはれといふこととく和論
は多海大明神とありは多海の二字板本に